

製品名: グルカゴン受容体ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11482**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	GCGR
別名	GCGR; Glucagon receptor; GL-R
遺伝子 ID	2642.0
SwissProt ID	P47871
免疫原	抗血清はヒト GLR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 95-144

背景

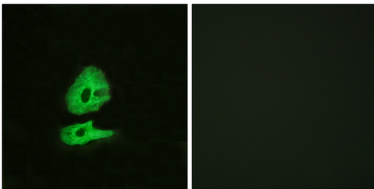
グルカゴン受容体(GCGR) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血糖値の調節に重要なグルカゴン受容体です。この遺伝子の欠陥は、インスリン非依存型糖尿病 (NIDDM) の原因となります。[RefSeq 提供、2010年1月],疾患: インスリン

非依存型糖尿病 (NIDDM) における特定の欠陥の候補です。40 番 (Ser) の変異は、一部の NIDDM 患者だけでなく、非糖尿病患者にも見られます。機能: これはグルカゴン受容体であり、肝臓でのグルコース産生とインスリン分泌の速度を制御することで、血糖値の調節に中心的な役割を果たします。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを活性化する G タンパク質と、ホスファチジルイノシトールカルシウムセカンドメッセンジャーシステムによって媒介されます。類似性: G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属します。

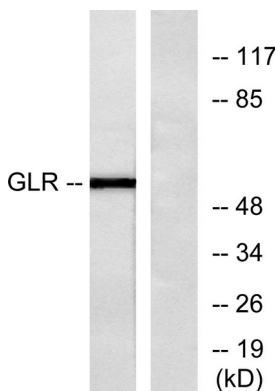
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

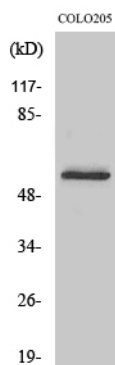
画像データ



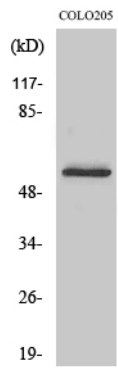
GLR 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COLO205 細胞ライセートの GLR 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



グルカゴン受容体ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



グルカゴン受容体ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析